

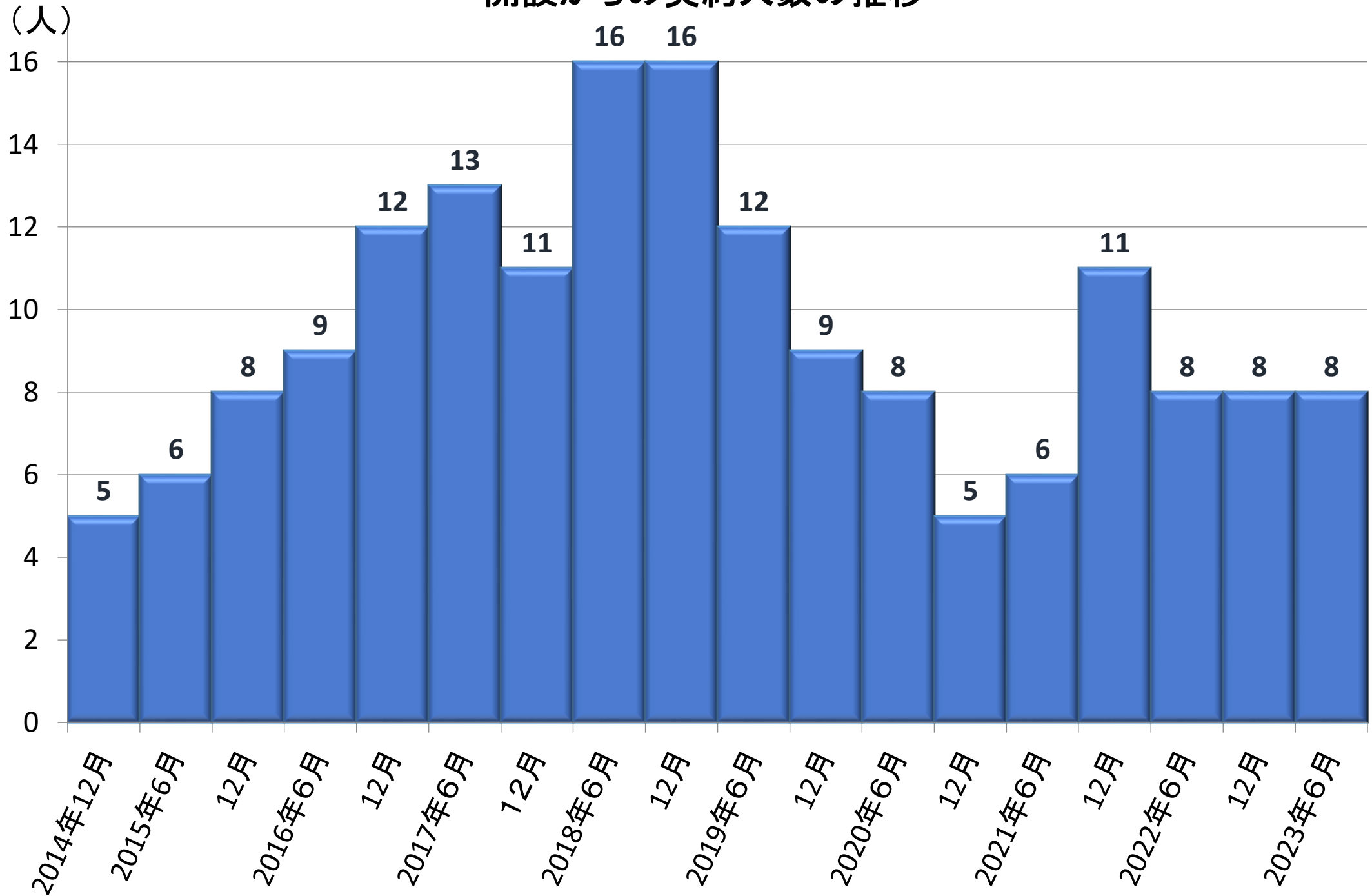
地域密着型サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

第21回 介護・医療連携推進会議

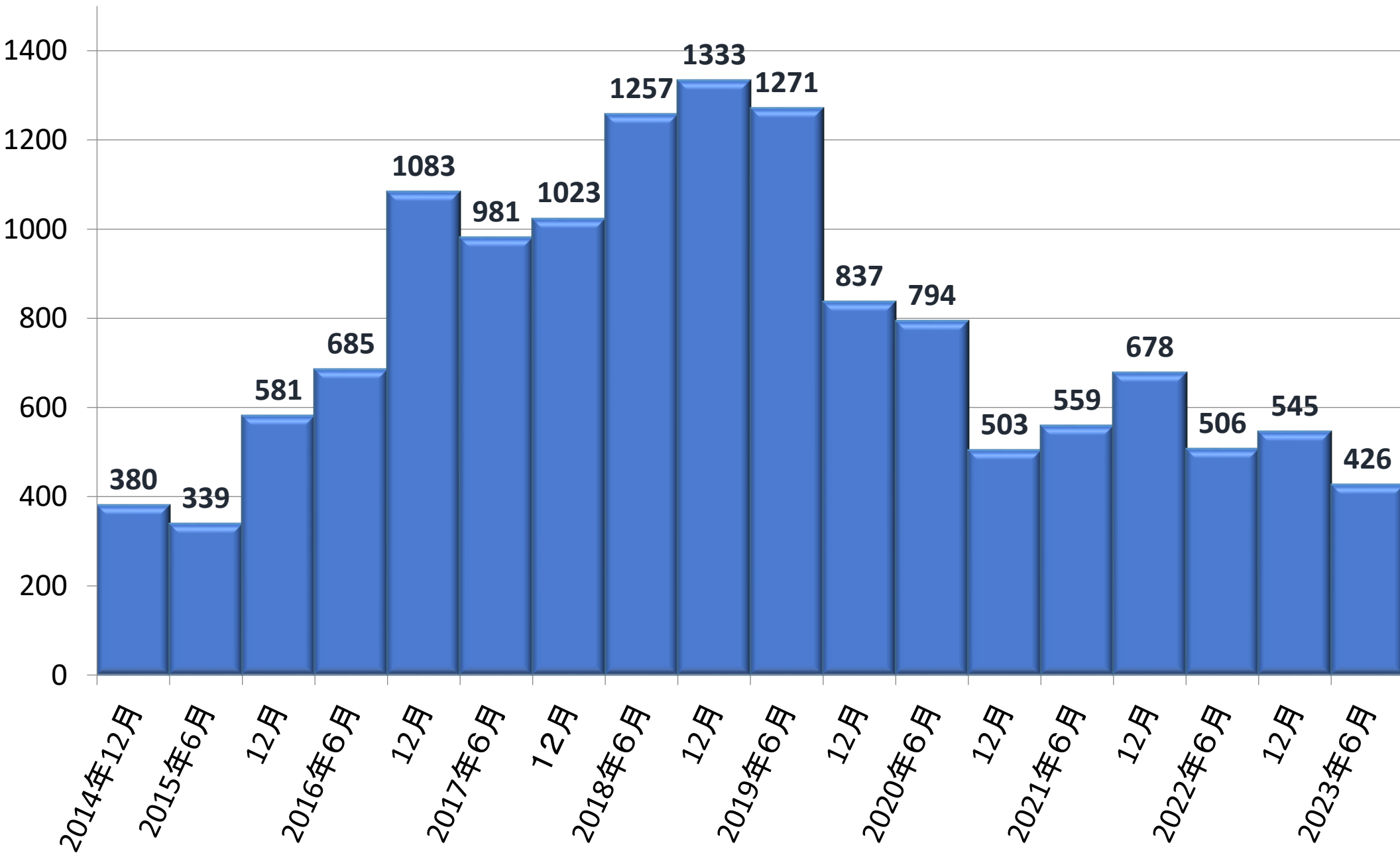
2023年7月4日

社会福祉法人 成晃会
摂津ひかり24時間ケアセンター

開設からの契約人数の推移

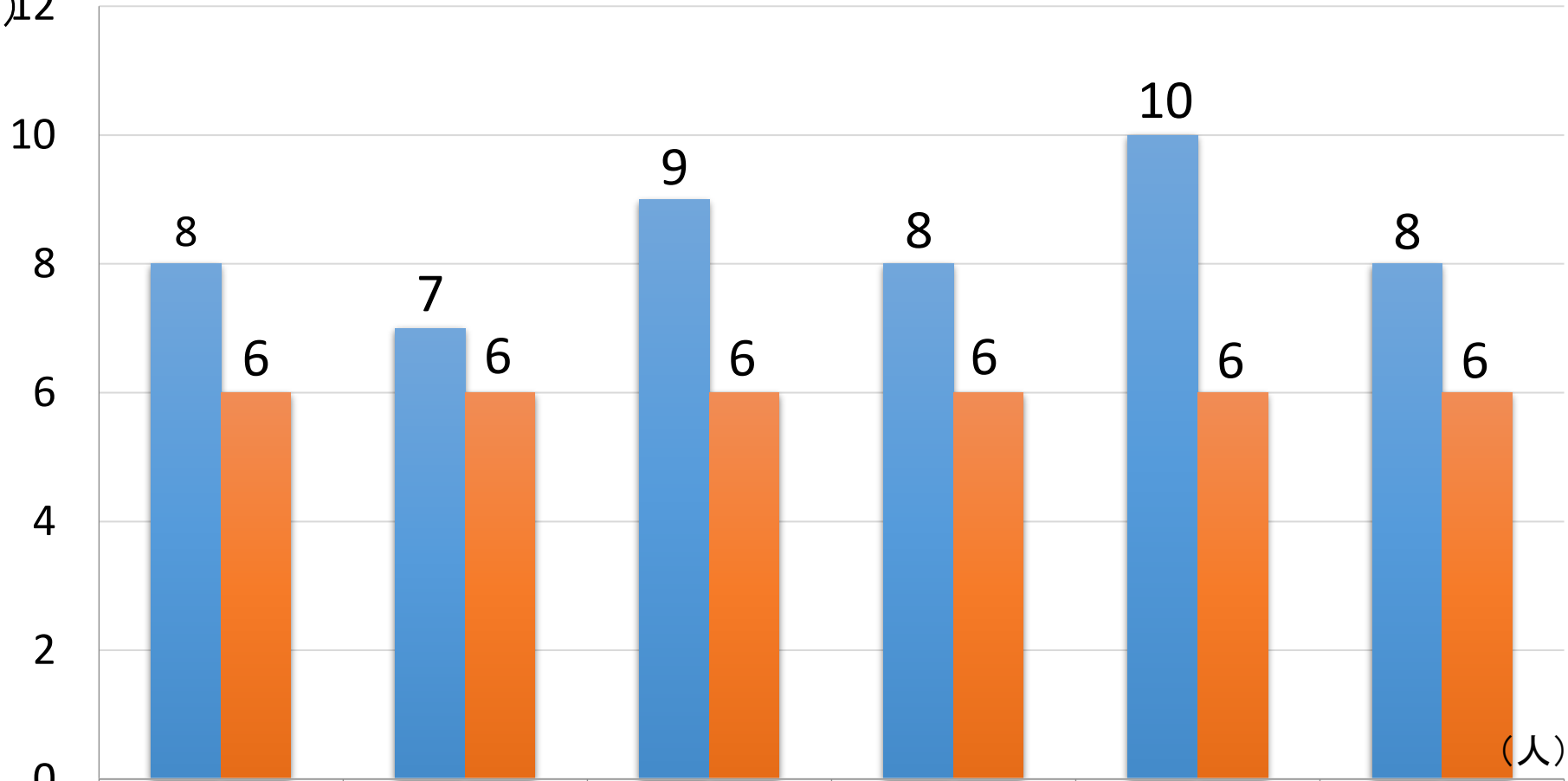


(人) 開設からの訪問回数の推移



2023年1月～2023年6月契約者数

(人)12

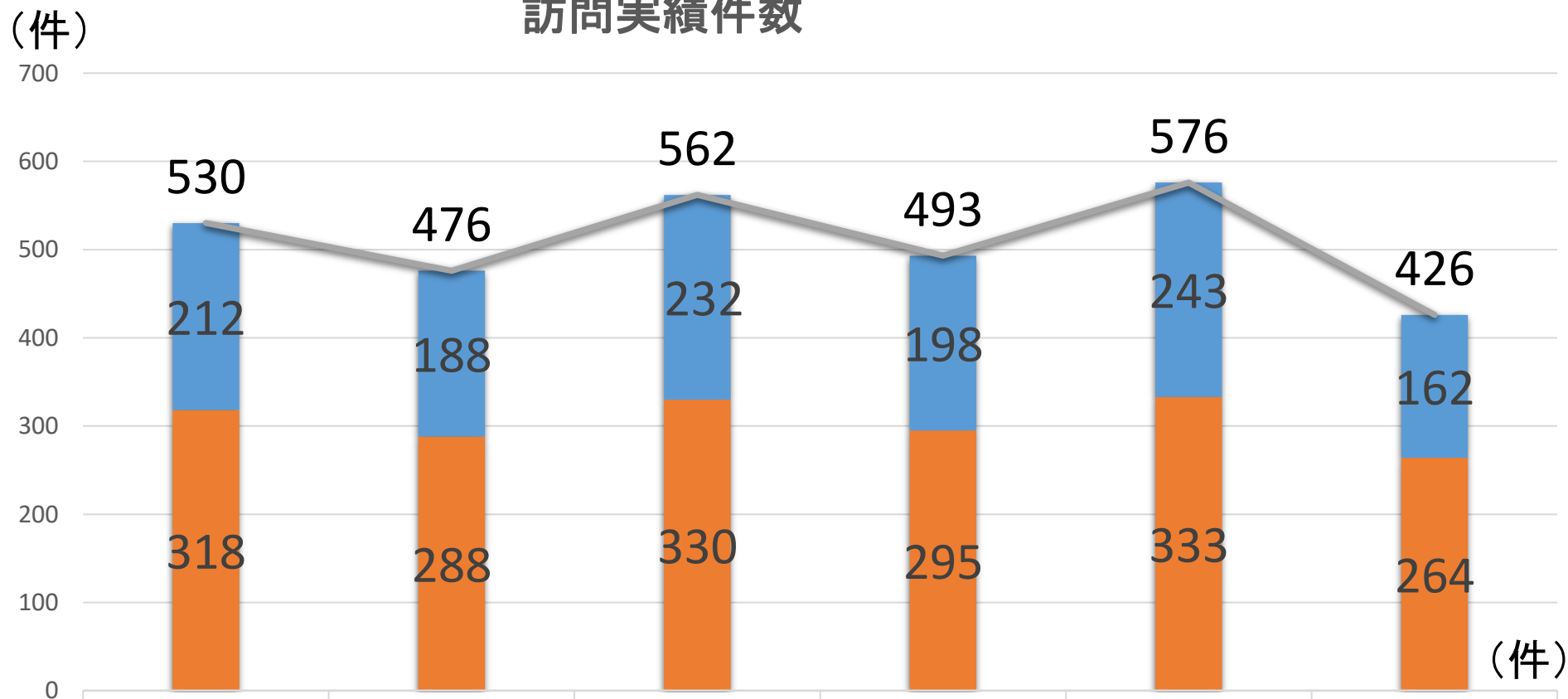


■ サービス提供者数
■ 職員の人数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
サービス提供者数	8	7	9	8	10	8
職員の人数	6	6	6	6	6	6

2023年1月～6月訪問実績

訪問実績件数

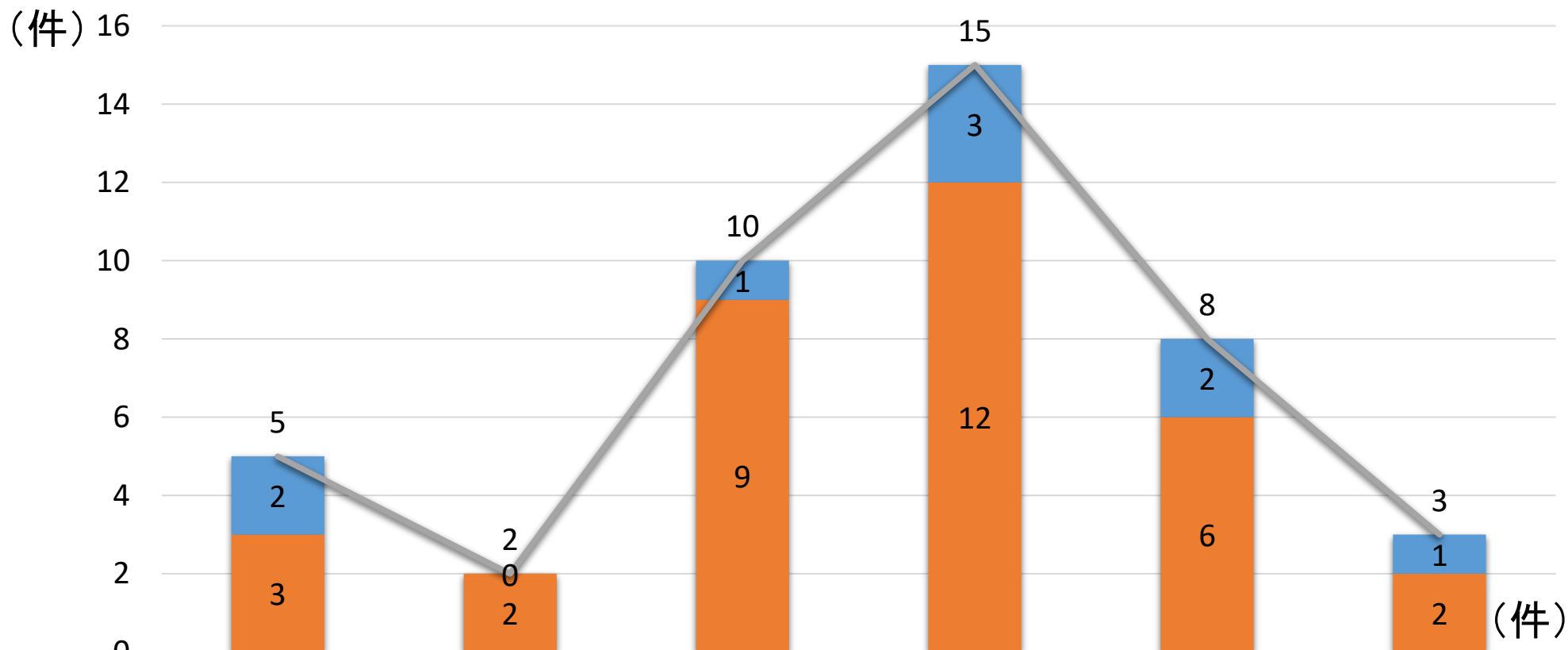


■ 夜間訪問回数
■ 日中訪問回数
— 総訪問回数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
夜間訪問回数	212	188	232	198	243	162
日中訪問回数	318	288	330	295	333	264
総訪問回数	530	476	562	493	576	426

2023年1月～6月随時訪問実績

時間別随時訪問件数

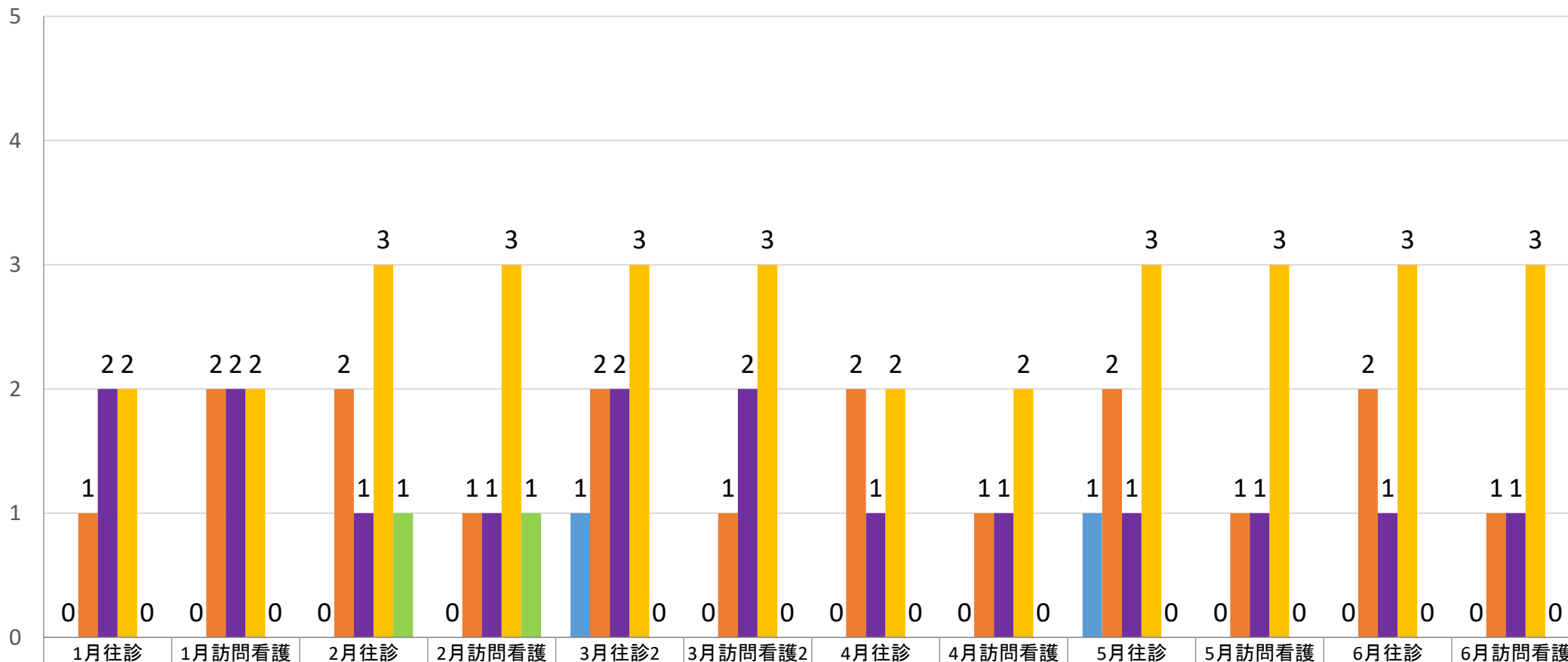


■ 夜間随時対応回数	2	0	1	3	2	1
■ 日中随時対応回数	3	2	9	12	6	2
— 随時対応総数	5	2	10	15	8	3

2023年1月～6月 往診・訪問看護実績

(件)

■介護度1 ■介護度2 ■介護度3 ■介護度4 ■介護度5



■介護度1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
■介護度2	1	2	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
■介護度3	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
■介護度4	2	2	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3
■介護度5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

開設から現在までの事業の検証

(2014年12月1日～2023年6月30日)

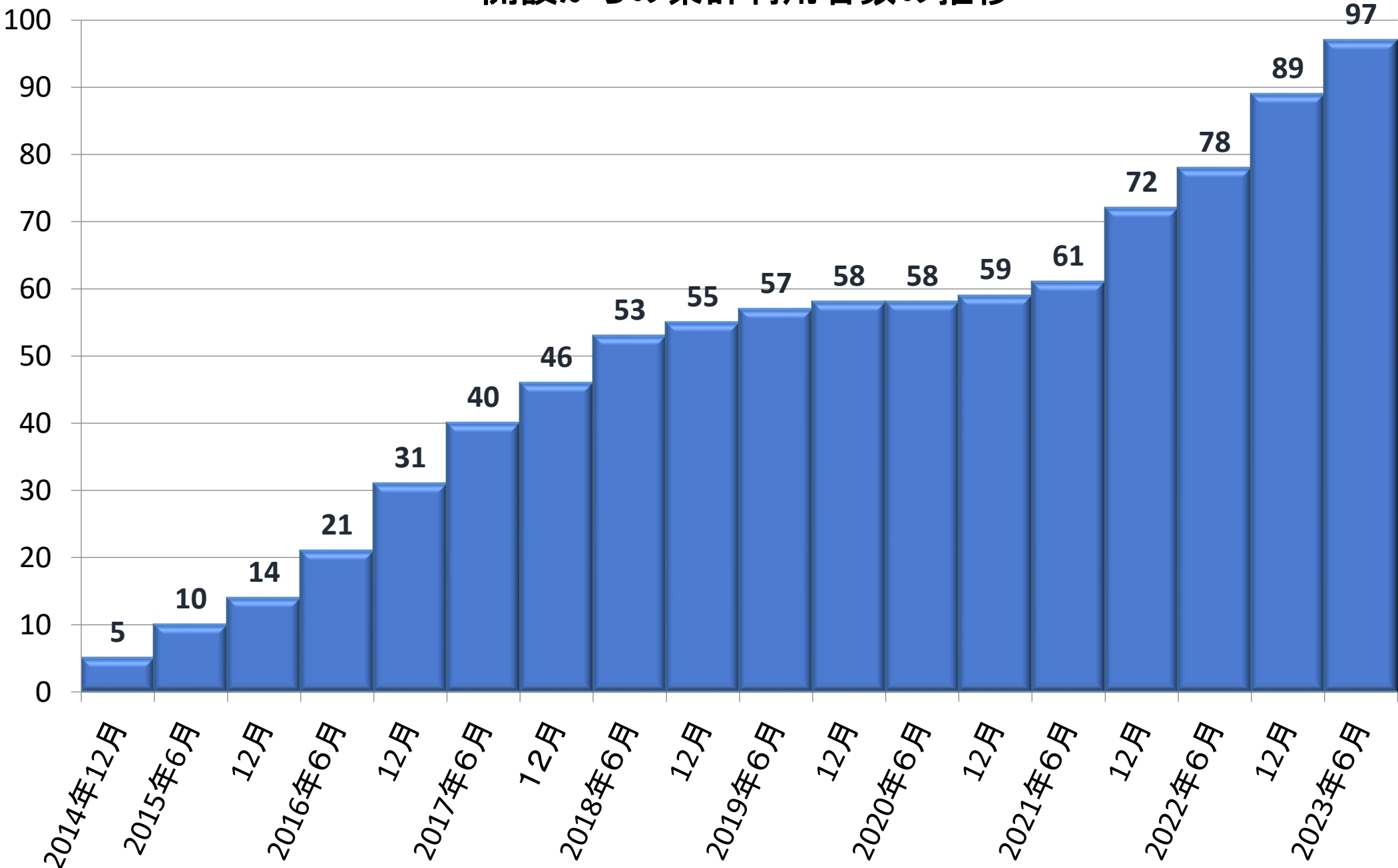
利用者総数 97名

現利用者数 6名

利用終了者の終了理由(2023年1月～6月)

- 入所の為、利用終了となる(1名)
- 入院の為、利用終了となる。(5名)
- 一般訪問介護に移行の為、利用終了となる。(3名)
- 死亡の為、利用終了となる。(1名)

(人) 開設からの累計利用者数の推移



介護・医療連携

事前カンファレンス

サービス開始前に医療情報の提示がなされている場合、連携訪問看護部および24時間ケアセンターにて、在宅サービス内容のカンファレンスを行い、病院側からのアドバイスを基に計画およびケアを実践しています。

ケース会議(1回/月)

連携している訪問看護師・当センター介護員で全利用者の身体状況・ケア方針・ケア内容を討議し、以降のケア内容の適正化および充実を図っています。

多職種会議(1回/月)

1人の利用者をテーマに医師・看護師・担当ケアマネジャー・管理栄養士等の出席により、利用者カンファレンスを開催し、多職種連携のメリットを最大限に生かした介護・医療連携による多角的な介護を実践しています。

勉強会(1回/月)

介護に関するテーマを設定し勉強会を開催、介護士のスキルアップとより良いケアを目指すべく努力しています。テーマが医療的な場合、訪問看護師を講師に招き、実施しています。

日常の連携

訪問看護師と当センター介護員は24時間電話連絡が取れる緊急時連絡体制を確保しています。また、定期的なアセスメント訪問実施により、利用者様にとってより良いサービスを選定し、実施しています。

事例報告

随時訪問の内容(利用者の声)

1月(5件)

- ・排泄介助に来てほしい。
- 訪問し、排泄介助を行う。
- ・ターミナルケアの利用者が体調不良の為、見に来てほしい。(3件)
- 訪問し、訪問看護に状況を説明する。指示にて酸素を3ℓに上げるなどの対応を行う。
- ・押し間違いによるコール
- コールがあり応答なかった為、訪問する。入眠されており押し間違えとのこと。

2月(2件)

- ・排泄介助に来てほしい。
- 訪問し、排泄介助を行う。
- ・立位が取れないとの訴えあり。
- 訪問し、状況を訪問看護へ連絡する。在宅での生活は難しいと判断し、ケアマネジャーにSSを依頼するが、すぐには難しいとのことで入院となる。

3月(10件)

- ・排泄介助に来てほしい。(10件)
- 訪問し、排泄介助を行う。

事例報告

随時訪問の内容(利用者の声)

4月(15件)

・排泄介助に来てほしい。(14件)

→訪問し、排泄介助を行う。

・嘔気の訴えあり。

→訪問し、状況を訪問看護へ連絡し、様子を見にきてもらう。食事はお粥にて対応する。

5月(8件)

・排泄介助に来てほしい。(6件)

→訪問し、排泄介助を行う。

・嘔吐したので更衣・シーツの交換をしてほしい

→訪問し、更衣・シーツ交換を行う。訪問看護へ連絡する。

・転倒して足が痛い。

→訪問し、状況を訪問看護へ連絡する。受診の指示あり、長男夫婦が来られていたので、受診に付き合ってもらい、骨折していた為、入院となる。

6月(3件)

・排泄介助に来てほしい。(3件)

→訪問し、排泄介助を行う。

事例報告

短期間での利用(約2週間)

- ・N・I様(3/13～3/31)
- ・Y・T様(4/25～5/9)
- ・I・M様(5/13～5/31)

生活が安定するまで、退院後約2週間、定期巡回を利用され、生活が安定し特に問題がなければ、一般訪問介護へ移行するケース。

利用者からは

- ・困ったときに連絡すると、対応してくれるので退院後は不安だったが、安心して生活ができる。
- ・訪問看護と連携がとれているので、安心できる。
- ・短時間での訪問もしてくれるので、とても心強い。

と安心感に満足されている声が多く、一般訪問介護との違いに満足されている。

アンケート(ケアマネジャー対象)

回答11名

1.定期巡回を利用しようとしている利用者はいいますか？

いる(2名) いない(9名)

- ・介護4でなんとか立位が保てる程度の能力
- ・脳出血後遺症による片麻痺、慢性腎不全、糖尿病腎症の為、週3回維持透析が必要
独居で車いす生活、室内自操(難しくなっている)、移乗は介助が必要

2.定期巡回の利用を中止した利用者はいいますか？

いる(6名) いない(5名)

- ・入所
- ・入院
- ・死亡
- ・一般訪問介護へ移行
- ・ニーズ充足
- ・通院介助が困難

アンケート(ケアマネジャー対象)

3.利用している利用者の満足度はどうですか？

満足な点

- ・本人と気の合うスタッフが来た時には本人が喜んでいました。
- ・夜中でもかけつけてくれる。
- ・必要な介助をしてくれるので心強い。来てもらえるだけで安心。
- ・自宅へ帰りたいと希望があり、定期巡回を利用することで可能となった。家族も安心していた。
- ・あまり干渉されたくない方で短時間で済むので満足している。
- ・日に数回、訪問してくれるところ。
- ・一人暮らしに自信がついた。
- ・いざ困ったときに連絡ができて、対応してくれる。

不満な点

- ・受診対応がない
- ・短時間なので用事を頼みにくい
- ・時間指定ができない

アンケート(ケアマネジャー対象)

4.定期巡回サービスで効率的と考えるサービスはありますか？

- ・服薬確認での短時間での訪問
- ・オムツ交換の頻度の多い方
- ・転倒リスクの高い方
- ・随時通報への対応や、緊急時の対応
- ・まるめの為、事業所の連携がとりやすい
- ・インスリンなどの見守り
- ・夜間の安否確認
- ・介護と看護の連携

5.定期巡回サービスを利用してよかったと思うことはありますか？

- ・予定の時間以上に対応してくれた時。
- ・寝たきりの方や夜間の対応をしてもらえるところ。
- ・施設入所となったが、限界ぎりぎりまで望む生活が支援できた。
- ・タイムリーな状況が把握できた。
- ・介護1での頻回な訪問は一般訪問介護より安価で、利用者の安否確認もできる。
- ・毎日確実な服薬確認ができて、状態が安定し、入院することなく在宅で生活を送れている。
- ・状態の変化にすぐに対応できること。
- ・利用者の直近の情報を知ることができる。

アンケート(ケアマネジャー対象)

6.定期巡回と訪問看護の連携はとれていますか？

- ・取れていると思う(6名)
- ・すぐ伝えており、先生にも連絡いくのが早い。
- ・特変あればすぐに連絡してくれている。
- ・わかりません(2名)

7.定期巡回サービスに期待することはありますか？

- ・入院や受診の付き添い。
- ・細やかな連携体制。
- ・調理
- ・入浴介助
- ・もっと認知度があがり利用が増えること。
- ・在宅生活の延長。
- ・継続してやってほしいです。

アンケート(ケアマネジャー対象)

8.介護保険ではやっていない支援でやってほしいサービスはありますか？

- ・家族の分の洗濯
- ・書類代行
- ・入院時の付き添い
- ・大掃除
- ・一緒に外出(買い物や通院など)
- ・単なる話し相手
- ・外出援助
- ・入院先での夜間見守り
- ・入院中に医療機関で補えないこと。(充電器を持ってきてほしいなど)

アンケート(ケアマネジャー対象)

9.定期巡回サービスを利用する際のメリット・デメリットはありますか？

メリット

- ・独居で外出できない方など頻回な訪問で楽しみができる。
- ・短時間のサービスもしてもらいやすい。
- ・インスリンや内服が確実に行え、安心感があり、希望の生活が送れる。
- ・頻回な訪問で必要なケアが行え、変化がわかる。
- ・定期的な訪問・短時間・頻回な訪問と緊急時の対応。
- ・重度要介護者になっても自宅で生活を続けられる。
- ・1ヶ月定額で1日に複数回のサービスを受けられる。

デメリット

- ・1ヶ月の単位数が高く、デイ等他のサービスを多く入れられない。
- ・利用料金と他のサービスの組み合わせの検討が必要で使いにくい時がある。
- ・通院などが利用できない。
- ・今まで入っていた訪問看護がそのまま入ってくれるケースは難しく、訪問看護がひかり病院になる。
- ・訪問介護と併用ができない。(通院・調理)
- ・スケジュール調整が難しい
- ・自宅の出入りが必然的に多くなる為、同居家族に抵抗を感じる方も一定数いる。

アンケート(ケアマネジャー対象)

10.当事業所において改善したほうがいいところがありますか？

- ・時間の調整や事業所の都合もわかるが、もう少し希望も聞いてほしい
- ・ニーズに合った訪問回数が確保できる人員配置。

11.その他どんなことでも結構ですので、何かご意見・ご感想がありましたら自由にご記入ください。

- ・昼食や夕食などの集中する時間帯でも希望する時間帯に入ってくれと助かります。
- ・利用者・家族・ケアマネジャー・事業所が気持ちよく関わり楽しく生活できるようにこれからもお願いします。
- ・日中・夜間対応されているのでスタッフの体調管理はどのようにされているのか気になりました。またどうしてもサービスが重なる時間帯は難しいと思いました。
- ・利用相談の段階で「介護度〇なので〇回くらいで・・・」と回数を決めるのではなく、本人に合わせた調整をお願いしたい。特に退院後などADLが把握できていない間は介護度に左右されない細やかな対応をお願いしたい。
- ・スタッフによって、最低限のことしかしないスタッフと話を聞いたりしてくれるスタッフといると利用者から聞くことがあります。
- ・利用に関しての相談がしたい。利用に繋がらない場合でも、利用の提案や助言をお願いできたら良いです。